

ottobock.

# C-Brace ユーザートレーニング



# C-Brace ユーザートレーニング

ユーザーに合わせた適切な油圧屈曲抵抗値に設定する必要があります。トレーニングが進むと抵抗値の感じ方も変わってきますので、義肢装具士と連携して調整してください。



## アプリで選べる4つのモード

トレーニングの段階や動作に合わせて、適切なモードを選択できます。

基本モード（歩行用）

トレーニングモード

膝固定モード

マイモード

1

基本モード

トレーニングモード



じっくりと油圧を感じながら座る動作をしてみましょう。ひじ掛けを持ち、腰を下ろす / 上げる練習です。

- 座面の高さを変えて行う
- 非装着肢を前に出して行う
- ひじ掛けを持つ手への荷重を減らして行う

### GOAL

- 装具の油圧屈曲抵抗を感じる
- 両下肢に均等に荷重をかけられる

2

トレーニングモード

膝固定モード



膝固定モードもしくはトレーニングモードで、平行棒内でバランストレーニングを行い、装具装着肢に荷重できるようにします。

- 左右均等に体重をかけ、手を放す
- 腕を大きく動かしながら立つ
- 目を開けて / 閉じてバランスボードに立つ

### GOAL

- C-Brace を信頼して膝伸展を保持できる

3

基本モード

トレーニングモード



平行棒内で、装具装着肢を前方に出し、腰を下方に下ろしながら、膝を曲げたり伸ばしたりします。ユーザーができる範囲から始めます。

### GOAL

- 意図的に膝を屈曲できる
- 油圧抵抗の感覚を得る

4

基本モード



直感ロック機能は、膝を軽度屈曲して少し止まると固定できる機能です。まずは「直感」ではなく「意図的」にロックするよう練習しましょう。最初は平行棒や壁にもたれて、膝を軽度屈曲し固定されることを確認します。慣れてきたら屋外に出て、下り坂で試してみましょう。

### GOAL

- 生活の局面を想定して使いこなすことができる

5

基本モード

トレーニングモード



平行棒の間で、装具装着肢を前方に出し、重心を前方へ移動させて装具装着肢に体重をかけます。非装着肢で一步を振り出し、続けて装具装着肢も振り出します。

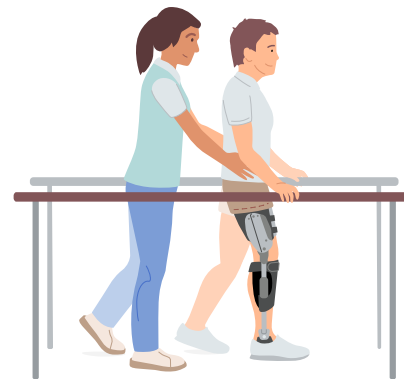
### GOAL

- 立脚期から遊脚期への移行
- 自信を持ってスタンスリリース \* ができる

6

基本モード

トレーニングモード



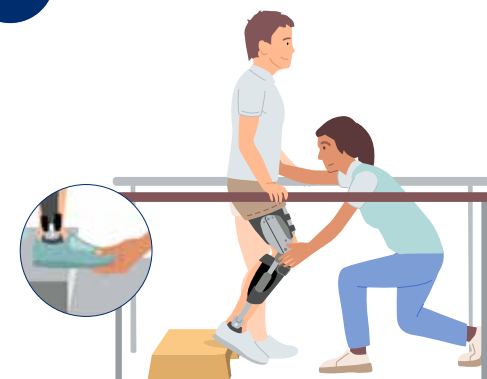
基本モードで平地歩行の練習をします。装具装着肢の使い方にフォーカスし、歩行中にスタンスリリース \* ができるように歩行します。スタンスリリースができない場合、トレーニングモードで練習を行います。

### GOAL

- 歩行補助具を使用しながらでも、膝を曲げた遊脚期のある歩行ができる

7

基本モード



平行棒内に段差を用意して、装具装着肢の足を半分ほど段の縁から出した位置に置きます。装具装着肢に荷重して膝を曲げ、非装着肢から一段降ります。

### GOAL

- 上肢で支持しながらでも安全に行える

8

基本モード



油圧の抵抗を感じながら膝を曲げた状態で坂を下ります。最初は小さい歩幅で歩けるようにします。しっかりロールオーバーができていることを確認しましょう。

### GOAL

- リハビリ室の坂だけでなく、屋外の坂にも挑戦できるようになる

\* スタンスリリースとは立脚期から遊脚期への移行に向けて、油圧屈曲抵抗を下げる膝継手の機能です。最終ページをご参照ください。

# スタンスリリース

立脚後期に油圧抵抗を急激に下げ、膝の屈曲と遊脚期への移行を可能にする機能がスタンスリリースです。スタンスリリースは、センサーが「大腿部の前方移動」「大腿部の前傾」「膝関節の完全伸展」の3条件を検知することで行われます。

立脚期を経て遊脚期でしっかり膝を曲げられるための練習として、ボールを使用した練習が挙げられます。装具装着肢から踏み出し、立脚期を経て振り出した装具装着肢でボールを蹴ります。トレーニングモードではスタンスリリースの際に音を鳴らすことができるので、音が聞こえたら脚を振り出すというタイミングの練習ができます。それでも難しい場合は、本編の⑤、⑥を繰り返し、立脚期の重心移動を意識してみましょう。



## セラピスト向けトレーニングビデオ

YouTube 内で、トレーニング内容をご紹介します。

導入時のトレーニングから歩行、坂道・階段への応用まで、順を追って確認することができます。

### 第1話：C-Brace Leg Orthosis: Therapy exercises 1/16 - Introduction | Ottobock



C-Brace のトレーニングの概要についての動画です。初期設定・初期トレーニングから後期の応用トレーニングを簡単に説明しています。ユーザーへのオリエンテーションで、どのようなトレーニングを行うかを説明するのにも役立つ内容です。  
(動画長さ 3 分 50 秒)



お問い合わせ先

オットーボック・ジャパン株式会社 [www.ottobock.com/ja-jp](http://www.ottobock.com/ja-jp)  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F  
TEL. 03-6739-4090 (代表) FAX. 03-6739-4097